

# ゆきしろみず



オオウメガサソウ

## 主な内容

- ごあいさつ..... 1
- まさかり半島・まめ知識 ..... 1
- 地質調査の進捗状況 ～2020年5月現在～ ..... 2
- 周辺整備作業 ～2020年度の概要～ ..... 2
- 特集「建設現場の仕事」ポーリング調査..... 3
- お知らせ..... 4
- 東通ヘッドオフィスの紹介 連載企画(その1) ..... 4
- 東通小学校「環境・エネルギー教室」を開催しました! ... 5
- 東通村を知りたい ～農業編～ ..... 5

## QRコードを使って♪アンケートに応募しよう!

- ハガキ又はQRコードでお答えいただいた皆さまに、粗品をプレゼントします。さらに、抽選で10名様に、今回取材した「濱田さんのフリーズドライのイチゴ」をプレゼントします。
- スマートフォンなどでQRコードを読みとることで、かんたんにアンケートに回答できるようになっておりますので、ぜひご応募ください。



応募締め切り 2020年8月14日(金)

◆誌名「ゆきしろみず」とは、雪どけ水のことをいいます。雪どけ水は静かに大地に流れ入り、浸し、潤します。私どもも雪どけ水のように地域に浸透し、一体となっていければという願いが込められています。

# ごあいさつ

日頃より当社事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

地域の皆さまのご支援により、昨年7月の青森事業本部・東通ヘッドオフィスの設置から1年を迎えることができました。

私たちは、地域の一員として、地域に根ざした事業運営を進めるとともに、今後も安全最優先で作業に取り組み、できるだけ早く工事再開に向けた見通しをお示しし、その後の建設・運転につなげていくよう全力を尽くしてまいります。

引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

常務執行役 青森事業本部長 宗 一誠

東通原子力建設所長 太田 武

## 質問コーナー



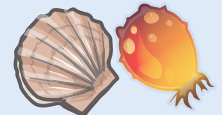
(宗本部長)

Q. 東通村で生活する中で、一番印象に残ったことは何ですか？

A. 自然の恵みの素晴らしさ。食べるものは何でも美味しく、大地や海の自然の力を痛感しています。新鮮なウニやアワビ、今や貴重なイカ。上質な東通牛、こごみ等の山菜、、、ああ書ききれない!!

Q. 休日は何をして過ごしていますか？

A. 暮らしているひとみの里や、職場のある小田野沢周辺を散歩しています。見かけたら声をかけて下さい。



Q. 東通村で生活する中で、一番印象に残ったことは何ですか？

A. 白亜の尻屋崎灯台と、放牧されている寒立馬の姿が、心にしみる印象的な風景でした。

Q. 休日は何をして過ごしていますか？

A. ジョギングが趣味です。今年は楽しみにしていたマラソン大会が相次いで中止になってしまい大変残念でしたが、東通村の様々な地区をジョギングしながら心温まる四季折々の風景を楽しんでいます。



(太田所長)

## まさかり半島・まめ知識



猿ヶ森埋没林★

### 本号表紙「オオウメガサソウ」について

この花は、本州では茨城県の北部から太平洋側にかけての地域と、北海道の一部でしか自生していない希少な植物です。猿ヶ森埋没林の周辺では、これが点々と群生しており、毎年6月初旬に見頃を迎えます。茎が直立し、薄いピンクの花びらが傘のように咲いている様子が特徴で、とても美しい花です。(高さ10～15cm程度)



撮影：猿ヶ森埋没林



## 地質調査の進捗状況 ～2020年5月現在～

東通原子力発電所の早期建設再開を目指して、2020年度内を目途に本格的な地質調査を実施しています。

### ●ボーリング(掘削)による地質・地質構造の調査

→敷地高台エリアにおいて、1本の深さ約100mのボーリング調査を36本計画し、順次実施しています。

2020年5月末までには、28本行いました。

これらの調査により得られた結果から、敷地の地質・地質構造の把握をしていきます。



※ボーリング調査については、次ページの特集記事「建設現場の仕事」も併せてご覧ください。

### ●試掘坑による地質・地質構造の調査

→2019年1月より立坑掘削、同年5月からは人が坑内に入って調査するための横坑掘削を実施しています。

2020年度も引き続き調査を進め、地下の地質構造の把握に取り組んでいきます。

〈用語解説〉・立坑(たてこう):垂直方向に掘られた地下の穴  
・横坑(よここう):水平方向に掘られた地下の穴



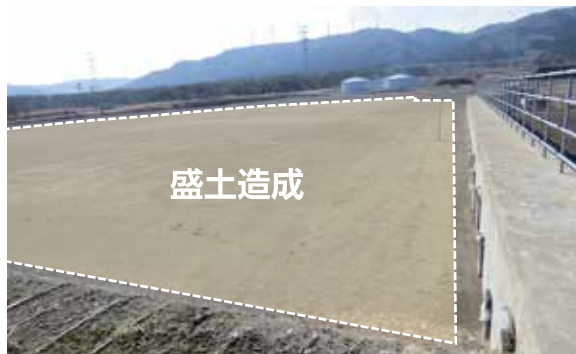
ボーリング調査(2020年3月撮影)

## 周辺整備作業 ～2020年度の概要～

周辺整備作業とは、本格工事の際に必要な作業ヤードの整備や、建設途中の設備の維持・管理のための作業のことです。



### A. 発電所南側ヤードの盛土造成



発電所を建設するために必要な作業エリアを造成しています。造成にあたっては、敷地の中で発生した残土にセメントを混ぜることで、建設に必要な強度を確保するように施工します。

### B. ボーリングコア収納倉庫の増築



ボーリング調査で採取するコアを収納するための倉庫を昨年度に2棟増築しており、今年度はさらに1棟増築する予定です。

〈用語解説〉・ヤード:作業場 ・ボーリングコア:地下の地質や地質構造を調査するため、地中をボーリング(掘削)し、岩石を採取した長い円柱状の地質サンプル



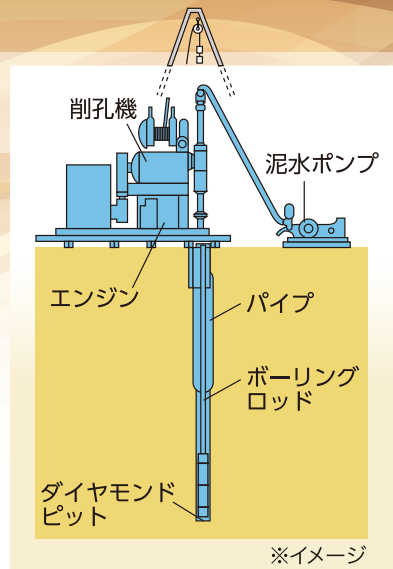
東通原子力発電所サイト全体(2020年5月撮影)

## ボーリング調査とは？

地質調査の基本作業の一つで、地面に孔(小さい穴)を掘って地盤の状況や地層境界の深度などの情報を得るために用いられる調査方法のことをいいます。

今回の調査では直径約8cmの孔をあけて、円筒形状のボーリングコア(地質試料)を採取します。これにより、地質の構造および地盤の強度がどのようになっているのかを確認することができます。

今回はボーリング調査で使用される機器類や、この仕事に携わる方々を紹介します。



## ●ボーリングマシン(削孔機)

←10馬力程度のエンジンによりロッド(棒)を駆動させて地中を掘削し、3mの長さのロッドを付け足しながら掘削を進めていきます。

掘削中は掘った孔が崩れないよう比重の重い「泥水」を注入して保護しています。掘削する先端のロッドには、ダイヤモンドの粒が数十個取り付けられ、これにより堅い岩盤まで掘削できるようになっています。東通の岩盤は堅い石などもあり、1日で先端の刃の取り換えが必要な場合もあります。

## ●ボアホールカメラ

→ボーリングで掘削した内部を洗浄し、カメラを挿入して映像を記録するとともに、地下内部の地質構造を画像により確認する装置です。確認作業は専門技術者の厳しい眼によって行われます。

〈用語解説〉・ボアホール:地面などを空けた穴



ボーリングコア  
ボアホール展開映像



※サンプルイメージ



## ●ボーリングコアのパッキング作業

←採取されたボーリングコアは、長期間保管する必要があることから、乾燥や破損を防ぐためのパッキング(保護膜)を行います。保護するフィルムは些細なことで穴が空いてしまうため、砂粒などの点検に余念がありません。また、僅かな空気の侵入も防ぐ必要があり、かなりの職人技が必要な作業です。現在この作業は、東通村の方にご活躍いただいています。



## (株)ダイヤコンサルタント 小野寺賢志さん

北海道出身で、昨年東通村へ移住された小野寺さん。  
東通サイトとの関わりや、現場作業などへの思いをお聞きました。

### ●東通サイトとの関わりは？

ボーリング会社に勤務して22年になる地質調査技士です。東通の現場に来て今年で5年目となります。

### ●東通村へ移住された印象は？

東通は自然が豊かで子供をのびのびと育てるには良い環境だと思い、この東通の地に家を構えました。買い物については、町へ買い出しに出掛けたり、インターネットで必要なものを購入したり、快適な生活を送っています。

### ●これまで最も苦勞された現場は？

東通の現場です!地質毎に性質が異なるので、給圧、回転数、泥水の種類、送水圧、送水量を微妙に調整しないと、ボーリングコアがきれいに採取できません。

### ●作業で気を遣うところは？

毎日作業を行うにあたり注意している点は、第1に安全に作業を行うこと、第2に東通に分布する掘削の難しい地質を品質良く採取することです。東京電力とともに、この東通の地で仕事をすることに誇りを持ち、日々努力をしていく所存です。



# お知らせ

至近の主なプレスリリースについて、お知らせいたします。

- 福島第二原子力発電所、柏崎刈羽原子力発電所および東通原子力発電所の原子炉設置変更許可申請書に関する届出書の提出ならびに柏崎刈羽原子力発電所における原子炉設置変更許可申請書の補正について (2020年4月1日公表)
- 青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた県の確認・要請に対する対応状況の青森県への報告について (2020年4月24日公表)
- 東通原子力建設所における保安規定認可申請の提出について (2020年5月28日公表)



プレスリリース  
詳細はこちら!

## 東通ヘッドオフィスの 紹介

連載企画 **その1**

前号で紹介した新たな組織「3つの室」について、その業務内容や働く社員について、3回にわたり紹介していきます。第1回目は、「共創・企画室」です。共創・企画室は、共創企画グループと業務グループで構成されています。



かほだ 堀田室長インタビュー

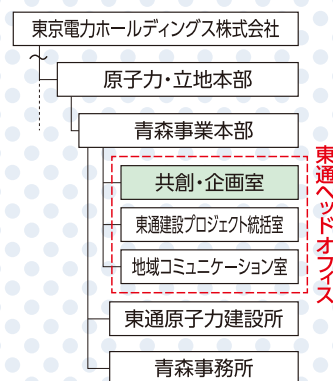
### Q. 「共創・企画室」とはどのような仕事をしているのでしょうか？

我々の仕事は、ここ東通村で原子力発電所を建設・運営し、将来にわたり地域の皆さまとお付き合いをさせていただくにあたり、東通村の持続的な発展のため、地域の一員として何ができるかを考え、取り組んでいくことです。

### Q. 東通村に住んでみて思ったことは？

食べ物も空気もおいしく、空も青く、自然が豊か。何よりも優しい方々ばかりです。

### 組織図



東通ヘッドオフィス

## 共創企画グループ

### 【業務概要】

東通村の皆さまが直面している生活の困りごとや、地域の発展に繋がるご要望等を、日々のコミュニケーションから感じ取り、皆さまとの協働又は村内外の企業との連携を通じて、暮らしがより豊かに楽しくなるような事業を創り出せるよう取り組んでいます。



### 【意気込み】

積極的に村内のイベント等に参加し、皆さまと和やかな雰囲気の中で共に考え、私たちも共に幸せになれる何かを探し出していきます。



左から新妻チームリーダー、山本グループマネージャー、鈴木メンバー

## 業務グループ

### 【業務概要】

青森事業本部全体の業務を統括するとともに、青森事業本部長のサポート等を実施しています。



### 【意気込み】

青森事業本部全体の業務が円滑に進むよう、明るく、楽しく、元気な職場をつくりまします。



左から遠藤チームリーダー、中山グループマネージャー、畑中メンバー

## 東通小学校「環境・エネルギー教室」を開催しました!

次世代を担う東通小学校のみなさんに、身近な電気について楽しく学んでいただくことを目的に、2020年2月4日(火)4年生と5年生を対象とした環境・エネルギー教室を開催しました。

今後も、本活動を通じて、エネルギー全般への理解をより深めてもらえるよう取り組んでまいります。

4年生

静電気で浮遊するクラゲや太陽電池・果物電池の実験等を通じて、電気のしくみを学びました!



5年生

ネコライトという手回し発電機を使った実験等を通じて、様々な発電方法を学びました!



## 東通村を知りたい～農業編～

「つくる」人にクローズアップ!!地域で頑張っている方を取材し紹介します。

イチゴハウス



イチゴ農家  
はまだ ゆうこ  
濱田 裕子 さん

東通村内でイチゴ栽培を行う濱田さんは、首都圏より移住され村内で農業を営んでいます。今回は、その経緯や思いを取材しました!

**Q. どんな農作物を育てていますか?**

主に「夏秋イチゴ」です。冬は寒菜なども育てています。

**Q. 農業を始めたきっかけは何ですか?**

東通村で農業を営んでいる祖父の後継者がおらず、農業引退の話を聞いて、「私が後を継ぐ」という思いで茨城から移り住みました。

**Q. 今後、挑戦してみたいことはありますか?**

祖父のように立派な「まるめろ」を育てて、美味しい果実酒を作ることに挑戦したいです。

※「まるめろ」はかりん的一种で生食には適していませんが、果実酒などに適しています。



イチゴの果実と花



フリーズドライのイチゴ

### 濱田さんよりPRコメント

祖父の後を継ぐために東通村へ移住し、農家という道を選択しました。今では「しもきたマルシェ」で実行委員長も務めています。「しもきたマルシェ」では7月～10月の第二日曜日に直売を実施しておりますが、今年は、新型コロナウイルスによる影響で、7・8月は中止となってしまいました。9・10月は実施予定ですので、詳しくは、Facebookをご覧ください。東通村で育てた物を全国へお届けできることを目標に、まずは下北のみなさまに東通村で丹精込めて育てた農作物を食べていただけたら嬉しいです。農作物については随時Instagramに掲載しております。是非、以下Instagramよりコメントお待ちしております。

- しもきたマルシェについて  
「しもきたマルシェFacebookページ」  
<https://m.facebook.com/simokitamarchet>
- 濱田さんの情報について  
「濱田裕子Instagram」  
[https://www.instagram.com/piyo\\_strawberry/](https://www.instagram.com/piyo_strawberry/)



PIYO\_STRAWBERRY



青森事業本部HP



ゆきしろみずバックナンバー

収穫品目  
と  
収穫時期

- サラダ用葉物野菜: 4月～5月
- イチゴ: 5月～11月(今年は6月～)
- はちみつ: 6月～9月
- にんにく: 7月
- さつまいも: 10月～11月
- 寒菜: 12月～2月(寒締めホウレンソウ)

※規格外のイチゴは、フリーズドライに加工し販売する場合があります。

### 編集後記

本誌は、今年の新型コロナウイルスの影響により春の発行を見合わせておりましたが、この度、夏号として発行することとなりました。毎号楽しみにご覧下さる地域の皆さま、大変お待たせいたしました。

今後も、「ゆきしろみず」をご愛読いただけますようお願いいたします。

なお、マスク未着用写真は、2020年3月以前に撮影しております。

(渡部)

編集発行  
責任者

東京電力ホールディングス株式会社 青森事業本部 地域コミュニケーション室 広報グループマネージャー

〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303 TEL 0175-45-7052・FAX 0175-45-7081 (平日午前9時～午後5時)

(2020年6月発行)